

**SHARP**

## **2013年度 第3四半期 決算概要**

---

- I. 2013年度 第3四半期 連結業績概要、  
2013年度 通期 連結業績予想**
  - II. 部門別情報**
  - III. 補足資料**
- 

シャープ株式会社  
2014年2月4日

#### 【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社(以下、総称して「シャープ」という)の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1)シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2)シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3)為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4)諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5)他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6)シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7)製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

**SHARP**

**I. 2013年度 第3四半期 連結業績概要、**  
**2013年度 通期 連結業績予想**

**I. 2013年度 第3四半期 連結業績概要、2013年度 通期 連結業績予想**

- ・ それでは、お手許にお配りしておりますパワーポイントの資料に沿ってご説明いたします。

## 2013年度 第3四半期 連結業績概要

・売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに、前四半期、前年同期を大幅に上回る

(単位:十億円)

	2012年度		2013年度							
	3Q	1Q-3Q 累計	1Q	2Q	3Q	前期比			1Q-3Q 累計	前年 同期比
						前期比	前期比 増減額	前年 同期比		
売上高	678.2	1,782.4	607.9	734.1	815.2	+11.1%	+81.1	+20.2%	2,157.2	+21.0%
営業利益	2.6 (0.4%)	-166.2 (-9.3%)	3.0 (0.5%)	30.8 (4.2%)	47.6 (5.8%)	+54.7%	+16.8	17.9倍	81.4 (3.8%)	-
経常利益	-1.8 (-0.3%)	-199.1 (-11.2%)	-12.7 (-2.1%)	16.0 (2.2%)	34.3 (4.2%)	2.1倍	+18.2	-	37.5 (1.7%)	-
四半期純利益	-36.7 (-5.4%)	-424.3 (-23.8%)	-17.9 (-3.0%)	13.6 (1.9%)	22.0 (2.7%)	+61.6%	+8.4	-	17.7 (0.8%)	-

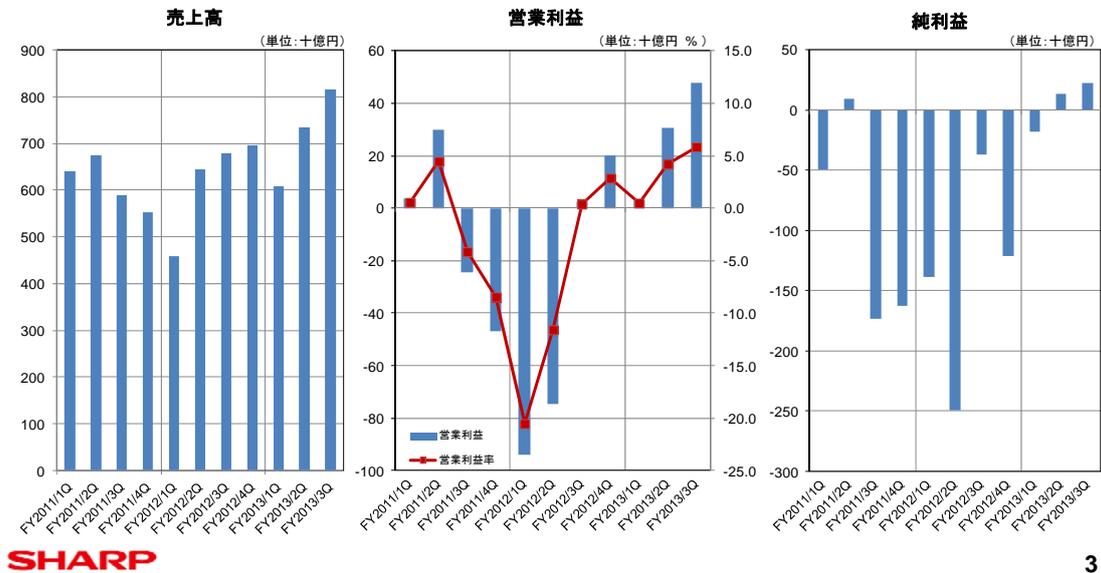
SHARP

2

- ・まず、当第3四半期 2013年10月～12月の3ヶ月の連結業績の概要ですが売上高は、前四半期比11.1%増、前年同期比20.2%増の8,152億円となりました。
- ・営業利益は、液晶部門において特許関連等のエンジニアリングビジネスの収益計上もあり、前期比54.7%増、前年同期比17.9倍の476億円と大幅な増益となり、売上高営業利益率は、第2四半期の4.2%から5.8%に改善しました。
- ・また、経常利益は343億円、四半期純利益は220億円となり、前四半期及び前年同期を大幅に上回ることができました。
- ・なお、2013年4月～12月の9ヶ月累計の実績については、売上高が、前年同期比21.0%増の2兆1,572億円、営業利益が814億円、経常利益が375億円、四半期純利益が177億円となり、ご覧の通り、前年同期から大幅に改善し、黒字転換を果たしました。

## 四半期別 売上高/営業利益/純利益 推移

- ・四半期ベースの売上高は、8,000億円の水準に改善
- ・営業利益、純利益は、2012年度第1四半期、第2四半期を底に回復
- ・営業利益は、5四半期連続で黒字を確保



3

- ・次のスライドは、売上高、営業利益、純利益の四半期別の推移を表したものです。  
ご覧の通り、売上高は四半期ベースで8,000億円を超える水準に改善しました。  
また、営業利益、純利益についても2012年度第1、第2四半期をボトムに回復し、営業利益は5四半期連続で、純利益は2四半期連続で黒字を確保しています。

## 2013年度 通期 連結業績予想概要

- ・売上高は、前回予想比2,000億円増の2兆9,000億円、営業利益は200億円増の1,000億円に上方修正
- ・経常利益、当期純利益は、支払利息、新興国通貨安に伴う為替差損、資金調達関連費用等、営業外費用の増加により前回予想を据え置き

(単位:十億円)

	2013年度			
	通期 前回予想	通期 今回予想	前回予想差異	
			修正額	増減比
売上高	2,700.0	2,900.0	+200.0	+7.4%
営業利益	80.0	100.0	+20.0	+25.0%
営業外損益	-40.0	-60.0	-20.0	-
経常利益	40.0	40.0	0.0	-
特別損益・法人税等調整額他	-35.0	-35.0	0.0	-
当期純利益	5.0	5.0	0.0	-

SHARP

4

- ・これら第3四半期迄の実績と足下の状況を踏まえ、2013年度の通期予想を見直し、売上高は、前回予想の2兆7,000億円から2兆9,000億円に、2,000億円上方修正します。
- ・これに伴い、営業利益も800億円から1,000億円に200億円上方修正しますが、支払利息や、新興国通貨安に伴う為替差損、資金調達関連費用等を中心に営業外損益の悪化200億円が見込まれるため、経常利益、当期純利益については、各々前回予想を据え置いています。

## 部門別売上高

- ・デジタル情報家電、太陽電池、電子デバイスが前期比二桁伸長
- ・前年同期との比較では、全部門が伸長

(単位:十億円)

	2012年度	2013年度					
	3Q	1Q	2Q	3Q	前期比	前期比増減額	前年同期比
デジタル情報家電	202.3	158.9	175.6	216.9	+23.5%	+41.3	+7.2%
健康・環境	74.8	82.3	77.5	82.1	+5.8%	+4.5	+9.7%
太陽電池	55.9	84.3	83.9	108.5	+29.4%	+24.6	+94.1%
ビジネスソリューション	69.6	77.6	80.7	77.1	-4.5%	-3.6	+10.7%
プロダクトビジネス	402.8	403.3	417.9	484.7	+16.0%	+66.8	+20.3%
液晶	258.2	193.8	284.7	277.5	-2.5%	-7.2	+7.5%
電子デバイス	82.2	61.2	86.5	106.4	+23.0%	+19.8	+29.5%
デバイスビジネス	340.4	255.0	371.3	384.0	+3.4%	+12.6	+12.8%
小計	743.3	658.3	789.2	868.7	+10.1%	+79.5	+16.9%
調整額	-65.0	-50.4	-55.1	-53.4	-	+1.6	-
合計	678.2	607.9	734.1	815.2	+11.1%	+81.1	+20.2%

※セグメント(プロダクトビジネス・デバイスビジネス)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

**SHARP**

5

- ・続いて、売上高の部門別状況ですが、  
当第3四半期は、デジタル情報家電、太陽電池、電子デバイスが大幅な増収を達成し、全体では前期に対し11.1%増の811億円の増収となりました。

## 部門別営業利益

・第3四半期は、第2四半期に引き続き、全ての部門で営業黒字を達成

(単位:十億円)

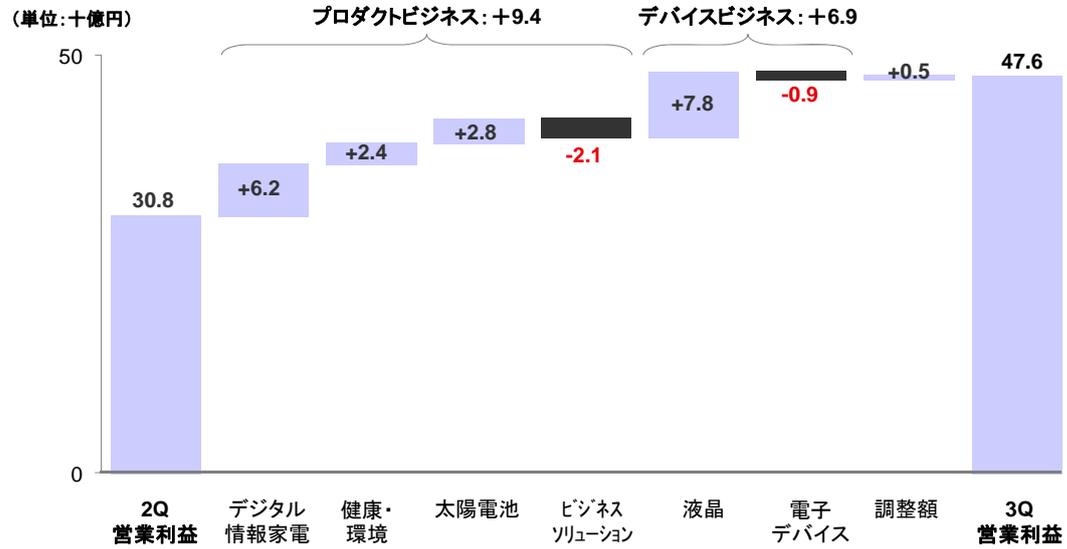
	2012年度		2013年度				
	3Q	1Q	2Q	3Q	前期比	前期比 増減額	前年 同期比
デジタル情報家電 (利益率)	5.3 (2.6%)	-1.3 (-0.9%)	2.2 (1.3%)	8.4 (3.9%)	3.8倍	+6.2	+59.4%
健康・環境 (利益率)	7.4 (10.0%)	6.4 (7.8%)	3.2 (4.2%)	5.6 (6.9%)	+75.4%	+2.4	-23.9%
太陽電池 (利益率)	-1.9 (-3.4%)	6.8 (8.1%)	3.0 (3.7%)	5.9 (5.5%)	+93.7%	+2.8	-
ビジネスソリューション (利益率)	6.3 (9.1%)	7.5 (9.8%)	8.3 (10.3%)	6.1 (8.0%)	-26.3%	-2.1	-3.0%
プロダクトビジネス (利益率)	17.2 (4.3%)	19.4 (4.8%)	16.8 (4.0%)	26.2 (5.4%)	+55.7%	+9.4	+52.5%
液晶 (利益率)	-11.7 (-4.6%)	-9.5 (-4.9%)	18.1 (6.4%)	26.0 (9.4%)	+43.1%	+7.8	-
電子デバイス (利益率)	3.1 (3.9%)	0.1 (0.2%)	5.1 (5.9%)	4.2 (4.0%)	-18.0%	-0.9	+32.5%
デバイスビジネス (利益率)	-8.5 (-2.5%)	-9.3 (-3.7%)	23.3 (6.3%)	30.2 (7.9%)	+29.6%	+6.9	-
小計 (利益率)	8.6 (1.2%)	10.0 (1.5%)	40.1 (5.1%)	56.4 (6.5%)	+40.6%	+16.3	6.5倍
調整額	-5.9	-7.0	-9.3	-8.8	-	+0.5	-
合計 (利益率)	2.6 (0.4%)	3.0 (0.5%)	30.8 (4.2%)	47.6 (5.8%)	+54.7%	+16.8	17.9倍

SHARP

6

- ・ 営業利益の部門別の状況は、次のスライドの通りです。  
当第3四半期は、第2四半期に続き全ての部門で営業黒字を達成することができ、全体では、前期に対し54.7%増の168億円の増益となりました。
- ・ 部門ごと、及び主要商品ごとの状況については後ほどご説明いたします。

## 部門別 営業利益増減分析(2Q/3Q対比)



SHARP

7

- ・ 次のスライドは、第2四半期から第3四半期にかけての営業利益の増減を、部門別にグラフに示したのですが、特にデジタル情報家電、液晶の改善が全社の収益改善に大きく寄与しています。

## 営業外損益・特別損益・法人税等の概要

・営業外損益は、前年同期比で悪化するも、特別損益は大幅に改善

(単位:十億円)

	2012年度		2013年度		
	3Q	1Q	2Q	3Q	前年同期比 増減額
営業利益	2.6	3.0	30.8	47.6	+44.9
営業外損益	-4.4	-15.7	-14.7	-13.3	-8.8
支払利息	-3.7	-4.2	-4.7	-5.8	-2.1
その他	-0.7	-11.5	-10.0	-7.4	-6.6
経常利益	-1.8	-12.7	16.0	34.3	+36.1
特別損益	-30.4	-1.0	2.6	-1.7	+28.6
固定資産売却益	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0
投資有価証券売却益	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0
固定資産除売却損	-0.5	-0.1	-1.0	-0.3	+0.2
投資有価証券評価損	-0.4	0.0	-0.9	-1.3	-0.9
事業構造改革費用	-27.3	0.0	0.0	0.0	+27.3
和解金	-2.0	0.0	0.0	0.0	+1.9
訴訟損失引当金繰入額	0.0	-1.0	0.0	0.0	0.0
税前利益	-32.2	-13.8	18.6	32.5	+64.8
法人税等 他	-4.5	-4.1	-5.0	-10.5	-6.0
当期純利益	-36.7	-17.9	13.6	22.0	+58.8

SHARP

8

- ・次のスライドは、営業外損益・特別損益・法人税等の概要です。  
当第3四半期は、営業外損益が前年同期比で88億円悪化する一方、特別損益は、286億円改善しました。  
また、法人税等は60億円増加しました。

## 経営改善対策の取り組み状況

### 【全社コスト構造改革による固定費の削減】

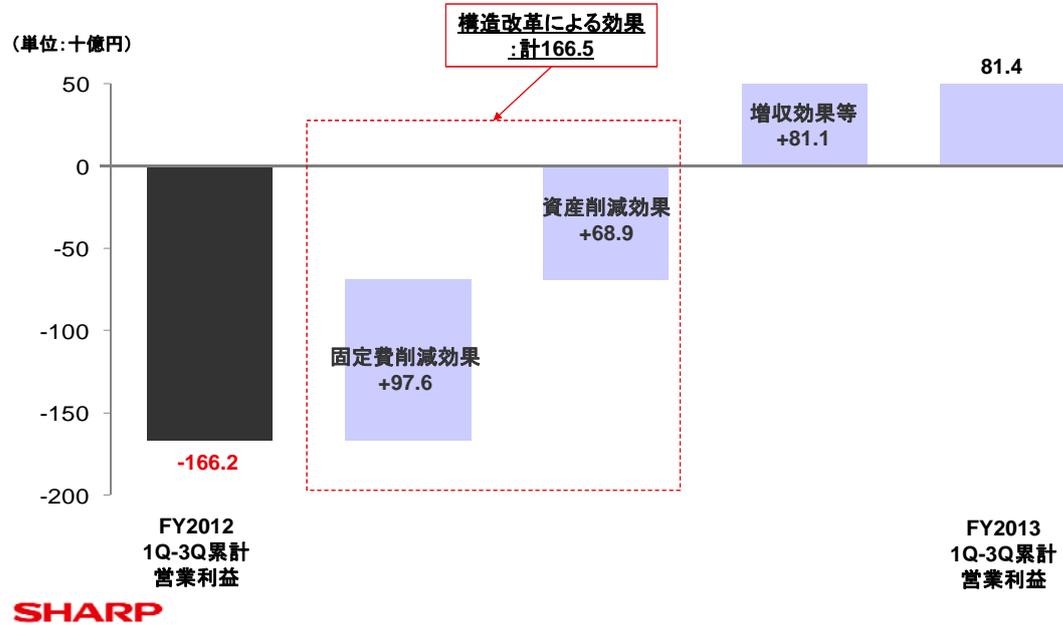
- ・ 減価償却費の削減や人件費の減少により、2012年度1-3Q（9ヶ月間）  
対比で、976億円の固定費を削減

### 【資本増強策の推進】

- ・ 公募増資及びオーバーアロットメントによる株式の売出しに伴う第三者割当増資により、計**1,203億円**の資金を調達（2013年10月、11月）
- ・ (株)デンソー、(株)マキタ、(株)LIXILを割当先とする**総額174億円**の第三者割当増資を実施（2013年10月）

- ・ 次のスライドは、経営改善対策の取り組み状況です。  
全社コスト構造改革による固定費の削減では、減価償却費の削減や人件費の減少等により、2012年度 第3四半期 9ヶ月累計との対比で、976億円の固定費を削減しました。
- ・ 財務体質の改善では、中期経営計画の遂行に向けた戦略的投資資金の確保と財務基盤の強化を目的とし、公募増資及びオーバーアロットメントに伴う第三者割当増資、計1,203億円を実施したほか、(株)デンソー、(株)マキタ、(株)LIXILに対する第三者割当増資、計174億円を行いました。

## 要因別 営業利益増減分析(1Q-3Q 9ヶ月累計 前年対比)



10

- ・ 次のスライドは、第1～第3四半期の9ヶ月累計ベースの営業利益の増減を要因別に分析したものです。  
固定費削減効果と、たな卸資産や固定資産などの資産圧縮効果等の構造改革効果、各部門における増収効果が収益改善に寄与しました。

## 連結貸借対照表推移

- ・公募増資、第三者割当増資により、現預金残高は3,185億円に増加
- ・自己資本比率は、2013年3月末の6.0%に対し、12月末は13.1%に改善

(単位:十億円)

	2012年度	2013年度			2012年度	2013年度	
	3月末実績	9月末実績	12月末実績		3月末実績	9月末実績	12月末実績
現預金	191.9	167.5	318.5	支払手形・買掛金	365.1	408.4	454.9
受取手形・売掛金	424.2	457.3	535.9	短期借入金	674.9	730.4	756.0
たな卸資産	310.7	317.5	342.1	1年内社債	235.3	130.3	130.3
その他	294.9	340.5	352.8	その他	392.1	343.8	381.6
流動資産計	1,221.8	1,282.9	1,549.4	流動負債計	1,667.5	1,613.0	1,722.9
有形固定資産	563.6	535.2	530.7	社債	160.0	60.0	60.0
無形固定資産	59.2	55.4	55.2	長期借入金	73.0	248.2	248.1
投資その他資産	242.4	241.6	270.8	その他	52.3	47.7	48.3
固定資産計	865.3	832.3	856.7	固定負債計	285.3	355.9	356.5
繰延資産	0.6	0.1	0.1	純資産	134.8	146.6	326.8
資産合計	2,087.7	2,115.5	2,406.3	負債純資産合計	2,087.7	2,115.5	2,406.3
				自己資本比率	6.0%	6.4%	13.1%

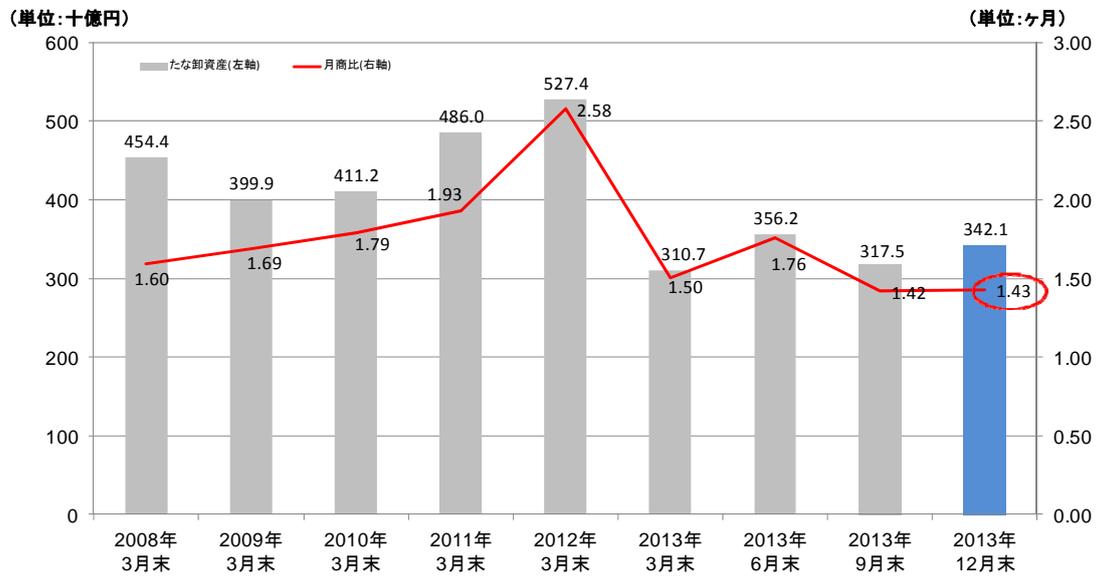
SHARP

11

- ・次のスライドは、貸借対照表の推移です。  
2013年10月及び11月に実施した公募増資、第三者割当増資により、第3四半期末(2013/12月末)は、現預金が第2四半期末(2013/9月末)から1,509億円増加するとともに、純資産残高が3,268億円となり、自己資本比率については、6.4%から13.1%に改善しました。

## アセットライトの取り組み（たな卸資産の推移）

・2013年12月末のたな卸資産は3,421億円で、9月末に対し245億円増加、月商比は1.43ヶ月とほぼ横ばい



SHARP

12

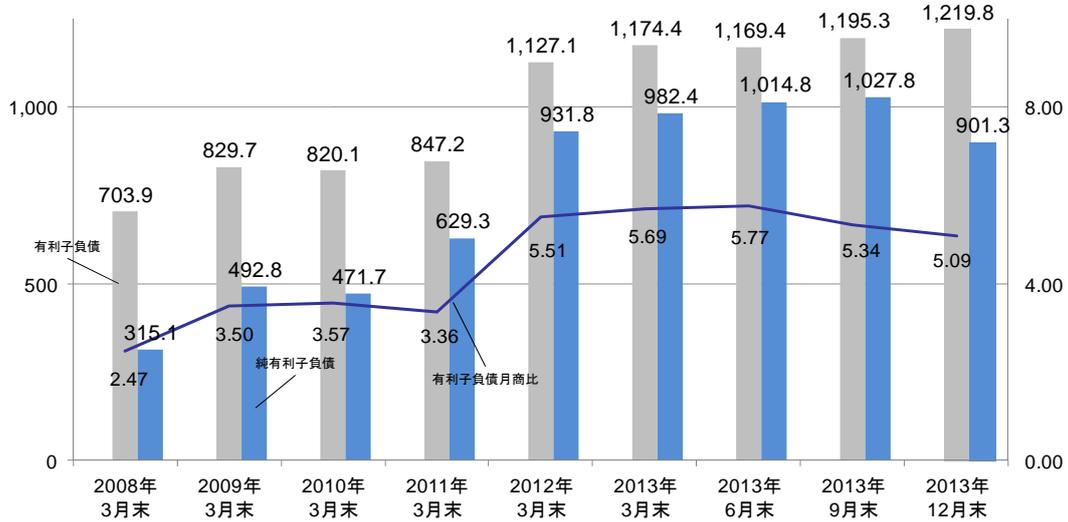
- ・次のスライドは、たな卸資産の推移を示したものです。  
第3四半期末(2013/12月末)のたな卸資産は3,421億円となりました。  
売上の増加に伴い、第2四半期末(2013/9月末)から245億円増加しましたが、  
月商比は1.43ヶ月とほぼ横ばいとなっています。

## 有利子負債の推移

- ・2013年12月末の有利子負債は1兆2,198億円で、9月末に対し245億円増加、  
月商比は5.34ヶ月から5.09ヶ月に低下
- ・公募増資、第三者割当増資による現預金の増加に伴い、純有利子負債※は9,013億円の減少

(単位:十億円)

(単位:ヶ月)



SHARP

※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

13

- ・次のスライドは、有利子負債の推移です。  
第3四半期末(2013/12月末)の有利子負債は1兆2,198億円となり、  
第2四半期末(2013/9月末)から245億円増加しましたが、月商比は5.09ヶ月  
に減少しています。
- ・また有利子負債から現預金を差し引いた純有利子負債は、9,000億円レベル  
に改善しています。  
引き続きキャッシュフローの改善に努め、有利子負債の削減に取り組んで  
まいります。

## Ⅱ. 部門別情報

## Ⅱ. 部門別情報

- ・ 続いて、部門別及び主要商品の状況についてご説明いたします。

## デジタル情報家電 <合計>

(単位:十億円)

	2013年度										通期
	1Q	2Q	3Q		4Q			通期		前回 予想	
	実績	実績	実績	前期比	前年 同期比	今回 予想	前期比	前年 同期比	今回 予想		
売上高	158.9	175.6	216.9	+23.5%	+7.2%	178.4	-17.7%	-6.9%	730.0	-0.4%	730.0
営業利益 (利益率)	-1.3 (-0.9%)	2.2 (1.3%)	8.4 (3.9%)	3.8倍	+59.4%	-1.3 (-0.8%)	-	-	8.0 (1.1%)	-	5.0 (0.7%)

※セグメント(プロダクトビジネス・デバイスビジネス)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

**【第3四半期の実績】**

・液晶テレビが台数・金額ともに伸長したほか、携帯電話の新品投入効果等から、第2四半期に続き営業黒字を確保、収益性は大幅に改善

**【今後の取り組み】**

・季節変動に伴う携帯電話の販売減等から、第4四半期の収益性は低下を予想するも、通期では黒字を確保

**SHARP**

15

- ・まず、デジタル情報家電部門ですが  
第3四半期の売上高は、第2四半期比23.5%増の2,169億円となり、営業利益は3.8倍の84億円となりました。
- ・年間予想については、ご覧の通り第3四半期迄の実績を踏まえ、営業利益について見直しを行っております。

## デジタル情報家電 <液晶カラーテレビ・携帯電話>

(単位:十億円、百万台)

		2013年度										通期
		1Q	2Q	3Q			4Q			通期		
		実績	実績	実績	前期比	前年同期比	今回予想	前期比	前年同期比	今回予想	前年比	
液晶カラーテレビ	金額	80.3	113.7	118.8	+4.5%	+13.0%	107.0	-9.9%	+9.8%	420.0	+8.1%	400.0
	台数	1.56	2.12	2.18	+2.5%	-2.3%	2.12	-2.5%	+11.9%	8.00	-0.4%	8.00
携帯電話	金額	50.2	37.2	69.2	+85.8%	+6.7%	53.2	-23.1%	-19.9%	210.0	-8.5%	210.0
	台数	1.31	1.11	1.77	+59.6%	+13.0%	1.29	-27.2%	-28.3%	5.50	-10.0%	5.50

### 【第3四半期の実績】

「液晶テレビ」: 市場に底打ち感の見られる国内を中心に台数、金額とも第2四半期から伸長  
 「携帯電話」: 新製品販売が寄与し、台数、金額ともに伸長

### 【今後の取り組み】

「液晶テレビ」: 4K対応AQUOSやクアトロプロ等、高精細液晶テレビの拡大と60型以上(70/80/90型)モデルのラインアップ拡充、新興国等の重点地域へのローカルフィット商品の投入による販売強化  
 「携帯電話」: 高精細、低消費電力「IGZO液晶」搭載モデルのラインアップ拡充

SHARP

16

- ・なお、同部門の主要商品である液晶テレビの売上高は、前期比4.5%増の1,188億円、販売台数は、2.5%増の218万台となりました。  
国内マーケットにおいて底打ち感が見られたほか、欧米、中国でも台数を伸ばしました。4K対応AQUOSやクアトロプロ等、高精細液晶テレビの拡大と60型以上モデルのラインアップ拡充を図るとともに、新興国等、重点地域における販売強化により、売上拡大を図ってまいります。
- ・年間予想については、ご覧の通り、売上金額の見直しを行っております。
- ・また携帯電話については、新製品投入により、売上高は前期比85.8%増の692億円、販売台数は59.6%増の177万台となりました。  
当ビジネスは、海外携帯電話メーカーとの競争激化等、今後も厳しい状況が続くことが想定されます。当社は、高精細、低消費電力を特長としたIGZO液晶搭載モデルや、大画面・狭額縁モデル等、独自特長端末の創出と販売強化に取り組んでまいります。

## 健康・環境

(単位:十億円)

	2013年度										通期
	1Q	2Q	3Q		4Q			通期			
	実績	実績	実績	前期比	前年同期比	今回予想	前期比	前年同期比	今回予想	前年比	
売上高	82.3	77.5	82.1	+5.8%	+9.7%	78.0	-5.0%	-2.2%	320.0	+3.3%	320.0
営業利益 (利益率)	6.4 (7.8%)	3.2 (4.2%)	5.6 (6.9%)	+75.4%	-23.9%	4.6 (5.9%)	-18.5%	-37.2%	20.0 (6.3%)	-37.9%	20.0 (6.3%)

※セグメント(プロダクトビジネス・デバイスビジネス)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

### 【第3四半期の実績】

- ・PM2.5問題に伴い空気清浄機が好調に推移したほか、電子レンジ等も伸長

### 【今後の取り組み】

- ・高性能、独自特長商品の投入や地産地消の推進により為替影響の極小化
- ・消費増税の特需と反動を見越した積極的な拡販と新たな需要を喚起する商品の創出

**SHARP**

17

- ・健康・環境部門については、

売上高は、前期比5.8%増の821億円となり、営業利益は75.4%増の56億円となりました。

急激に交易条件が変化中、地産地消の取り組み強化により為替インパクトを極小化するとともに、ASEANを最重点地域とした海外事業の拡大に取り組んでまいります。

# 太陽電池

(単位:十億円)

	2013年度										通期 前回 予想
	1Q	2Q	3Q			4Q			通期		
	実績	実績	実績	前期比	前年 同期比	今回 予想	前期比	前年 同期比	今回 予想	前年比	
売上高	84.3	83.9	108.5	+29.4%	+94.1%	153.1	+41.0%	+38.1%	430.0	+65.4%	310.0
販売量 (MW)	343	560	459	-18.1%	+67.4%	738	+60.8%	+46.7%	2,100	+59.2%	1,800
営業利益 (利益率)	6.8 (8.1%)	3.0 (3.7%)	5.9 (5.5%)	+93.7%	-	8.1 (5.3%)	+37.2%	-16.2%	24.0 (5.6%)	-	13.0 (4.2%)

※セグメント(プロダクトビジネス・デバイスビジネス)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

## 【第3四半期の実績】

- ・国内市場において、メガソーラー向け等の産業用が引き続き好調に推移
- ・海外では、ディベロッパー事業が売上増に寄与

## 【今後の取り組み】

- ・需要が底堅い国内市場での販売拡大・収益の確保、海外はディベロッパー事業を拡大  
住宅用:メンテナンス等アフターサービス充実等による販売強化  
産業用:商品供給体制ならびに施工体制の強化による着実な完工、設計や営業活動強化  
による新規案件の獲得
- ・米英でのモジュール生産終息等、構造改革の推進とエネルギーソリューションビジネスへのシフト

**SHARP**

18

- ・次に太陽電池部門ですが、国内市場における住宅用、メガソーラー等の産業用の伸長や海外におけるディベロッパー事業が好調に推移し、売上高は前期比29.4%増の1,085億円となり、営業利益は、93.7%増の59億円となりました。今後とも、エネルギーソリューションビジネスの展開や国内事業の一層の強化により、安定した収益力の確保に努めてまいります。
- ・年間予想については、足下における好調な販売状況を踏まえ、ご覧の通りの見直しを行っています。

# ビジネスソリューション

(単位:十億円)

	2013年度										通期
	1Q	2Q	3Q		4Q			通期			
	実績	実績	実績	前期比	前年同期比	今回予想	前期比	前年同期比	今回予想	前年比	
売上高	77.6	80.7	77.1	-4.5%	+10.7%	74.4	-3.5%	-15.7%	310.0	+4.4%	310.0
営業利益 (利益率)	7.5 (9.8%)	8.3 (10.3%)	6.1 (8.0%)	-26.3%	-3.0%	5.9 (8.0%)	-3.5%	-46.3%	28.0 (9.0%)	+15.0%	22.0 (7.1%)

※セグメント(プロダクトビジネス・デバイスビジネス)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

## 【第3四半期の実績】

- ・季節要因や競争激化等により、利益率は低下するも、依然安定した収益を確保

## 【今後の取り組み】

- ・先進国での高速機拡大、新興国におけるカラー機拡大
- ・複合機とディスプレイを連携させたソリューション提案による新規顧客開拓とパッケージ商材でのビジネスソリューション提案強化

**SHARP**

19

- ・ ビジネスソリューション部門については、  
季節要因による販売減や競争激化等から、売上高は前期比4.5%減の77.1億円となり、営業利益は26.3%減の6.1億円となりました。  
引き続き、当社の強みである特長ディスプレイと複合機を軸としたソリューション提案による新規顧客開拓や直販体制の強化等、事業拡大に取り組んでまいります。
- ・ 年間予想については、ご覧の通りの見直しを行っております。

# 液晶

(単位:十億円)

	2013年度										通期
	1Q	2Q	3Q		4Q			通期			
	実績	実績	実績	前期比	前年同期比	今回予想	前期比	前年同期比	今回予想	前年比	
売上高	193.8	284.7	277.5	-2.5%	+7.5%	243.9	-12.1%	+10.6%	1,000.0	+18.1%	970.0
営業利益 (利益率)	-9.5 (-4.9%)	18.1 (6.4%)	26.0 (9.4%)	+43.1%	-	5.3 (2.2%)	-79.6%	-	40.0 (4.0%)	-	30.0 (3.1%)

※セグメント(プロダクトビジネス・デバイスビジネス)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

## 【第3四半期の実績】

- ・スマートフォン向けを中心に中小型液晶が伸長するも、大型液晶パネルの価格下落の影響等から、第2四半期比減収
- ・特許関連等のエンジニアリングビジネスの寄与により大幅増益
- ・液晶工場稼働率は計画通りに進捗(亀山第2工場の中小型比率は約3割)

## 【今後の取り組み】

- ・デザインインの着実な推進による新規顧客開拓
- ・中小型液晶は、IGZO液晶等、高精細・低消費電力パネルの販売を強化

SHARP

20

- ・ 続いて液晶部門ですが、  
当第3四半期は、スマートフォン向け等、中小型液晶の販売が伸長しましたが大型液晶パネルの価格下落の影響等から、売上高は前期比2.5%減の2,775億円となりました。  
営業利益については、冒頭で触れました通り、特許関連等のエンジニアリングビジネスの寄与もあり、前期比43.1%増の260億円となりました。  
引き続き、マーケット動向やユーザー別需要動向を注視するとともに、新規顧客開拓に向けたデザインインの着実な推進や、安定顧客との取引拡大により、工場の操業確保と収益性の改善に取り組んでまいります。
- ・ 年間予想については、第3四半期迄の実績と下期後半における液晶パネルの価格下落リスク等を踏まえ、ご覧の通り見直しを行っております。

## 電子デバイス

(単位:十億円)

	2013年度										通期
	1Q	2Q	3Q		4Q			通期			
	実績	実績	実績	前期比	前年同期比	今回予想	前期比	前年同期比	今回予想	前年比	
売上高	61.2	86.5	106.4	+23.0%	+29.5%	85.6	-19.5%	+38.1%	340.0	+25.6%	320.0
営業利益 (利益率)	0.1 (0.2%)	5.1 (5.9%)	4.2 (4.0%)	-18.0%	+32.5%	2.5 (3.0%)	-39.7%	-49.8%	12.0 (3.5%)	-	12.0 (3.8%)

※セグメント(プロダクトビジネス・デバイスビジネス)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

### 【第3四半期の実績】

- ・モバイル機器向けカメラモジュールの販売が好調に推移

### 【今後の取り組み】

- ・モバイル機器向けカメラモジュールの小型・高機能化の推進、顧客層拡大
- ・モバイル機器向け照度・近接センサー等、特長デバイスの販売強化
- ・監視(セキュリティ)・車載・医療分野へのセンシングデバイスの応用展開強化
- ・モバイル機器向け等へのタッチパネルシステムの販売強化

SHARP

21

- ・電子デバイス部門については、  
モバイル機器向けカメラモジュールを中心に堅調に推移し、売上高は、  
前期比23.0%増の1,064億円となりましたが、価格下落の影響等から、  
営業利益は18.0%減の42億円となりました。  
今後とも、スマートフォン、タブレット向け高性能カメラモジュールや  
センサー等、特長デバイスの販売を強化してまいります。
- ・年間予想については、ご覧の通り、売上金額の見直しを行っております。

### Ⅲ. 補足資料

### Ⅲ. 補足資料

- ・ 次に補足資料をご覧ください。

## 2013年度 通期 連結業績予想概要

(単位:十億円)

	2013年度								2013年度
	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	4Q 今回予想	通期 今回予想	前回予想差異		通期 前回予想
							修正額	増減比	
売上高	607.9	734.1	815.2	2,157.2	742.7	2,900.0	+200.0	+7.4%	2,700.0
国内	258.8	285.5	296.2	840.5	279.4	1,120.0	+100.0	+9.8%	1,020.0
海外	349.1	448.5	519.0	1,316.7	463.2	1,780.0	+100.0	+6.0%	1,680.0
営業利益	3.0	30.8	47.6	81.4	18.5	100.0	+20.0	+25.0%	80.0
営業外損益	-15.7	-14.7	-13.3	-43.9	-16.1	-60.0	-20.0	-	-40.0
経常利益	-12.7	16.0	34.3	37.5	2.4	40.0	0.0	-	40.0
特別損益 法人税等他	-5.1	-2.3	-12.2	-19.8	-15.1	-35.0	0.0	-	-35.0
(四半期)当期純利益	-17.9	13.6	22.0	17.7	-12.7	5.0	0.0	-	5.0

SHARP

23

- このスライドは、2013年度 通期 連結業績予想概要です。  
 ご覧の通り、第4四半期は、季節要因や主要商品の市場投入タイミングの関係等により、前期比で売上高並びに営業利益の減少が見込まれ、また特別損失、法人税等の計上額が増加する見込みであることから、第4四半期の純利益は、第3四半期比で悪化し、赤字となる見通しです。冒頭でもご説明しました修正通期予想は、これら見通しを織り込んだものです。

## 2013年度 通期 連結業績予想概要

(単位:十億円)

	2013年度								2013年度
	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	4Q 今回予想	通期 今回予想	前回予想差異		通期 前回予想
							修正額	増減比	
設備投資	10.5	10.9	11.2	32.7	37.2	70.0	-10.0	-12.5%	80.0
減価償却費	29.9	28.7	27.7	86.4	33.5	120.0	-10.0	-7.7%	130.0

為替レート

	2012年度 通期	3Q	1Q-3Q	通期 今回予想
米ドル	82.11円	99.46円	98.39円	100.00円
ユーロ	105.65円	135.20円	130.74円	130.00円

SHARP

24

- ・なお設備投資、減価償却費、為替予想、並びに、部門別売上高、部門別営業利益の通期予想についてもまとめておりますのでご確認下さい。

### 最後に

本日も説明しました通り、2013年度につきましては、期初に掲げた計画を達成できる見通しとなりましたが、依然、厳しい収益環境、財務状況にあることに変わりはありません。

手を緩めることなく構造改革の取り組みを加速させ、中期経営計画の必達に邁進してまいります。

ご清聴ありがとうございました。

## 2013年度 通期 部門別売上高

	2013年度						前回予想 差異	2013年度
	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	4Q 今回予想	通期 今回予想		通期 前回予想
デジタル情報家電	158.9	175.6	216.9	551.5	178.4	730.0	0.0	730.0
健康・環境	82.3	77.5	82.1	241.9	78.0	320.0	0.0	320.0
太陽電池	84.3	83.9	108.5	276.8	153.1	430.0	+120.0	310.0
ビジネスソリューション	77.6	80.7	77.1	235.5	74.4	310.0	0.0	310.0
プロダクトビジネス	403.3	417.9	484.7	1,305.9	484.0	1,790.0	+120.0	1,670.0
液晶	193.8	284.7	277.5	756.1	243.9	1,000.0	+30.0	970.0
電子デバイス	61.2	86.5	106.4	254.3	85.6	340.0	+20.0	320.0
デバイスビジネス	255.0	371.3	384.0	1,010.4	329.5	1,340.0	+50.0	1,290.0
小計	658.3	789.2	868.7	2,316.3	813.6	3,130.0	+170.0	2,960.0
調整額	-50.4	-55.1	-53.4	-159.1	-70.8	-230.0	+30.0	-260.0
合計	607.9	734.1	815.2	2,157.2	742.7	2,900.0	+200.0	2,700.0

(単位:十億円)

**SHARP**

※セグメント(プロダクトビジネス・デバイスビジネス)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

## 2013年度 通期 部門別営業利益

	2013年度						前回予想 差異	(単位:十億円)	
				3Q	4Q	通期		2013年度	
	1Q	2Q	3Q	累計	今回予想	今回予想		通期	前回予想
デジタル情報家電 (利益率)	-1.3 (-0.9%)	2.2 (1.3%)	8.4 (3.9%)	9.3 (1.7%)	-1.3 (-0.8%)	8.0 (1.1%)	+3.0	5.0 (0.7%)	
健康・環境 (利益率)	6.4 (7.8%)	3.2 (4.2%)	5.6 (6.9%)	15.3 (6.3%)	4.6 (5.9%)	20.0 (6.3%)	0.0	20.0 (6.3%)	
太陽電池 (利益率)	6.8 (8.1%)	3.0 (3.7%)	5.9 (5.5%)	15.8 (5.7%)	8.1 (5.3%)	24.0 (5.6%)	+11.0	13.0 (4.2%)	
ビジネスソリューション (利益率)	7.5 (9.8%)	8.3 (10.3%)	6.1 (8.0%)	22.0 (9.4%)	5.9 (8.0%)	28.0 (9.0%)	+6.0	22.0 (7.1%)	
プロダクトビジネス (利益率)	19.4 (4.8%)	16.8 (4.0%)	26.2 (5.4%)	62.6 (4.8%)	17.3 (3.6%)	80.0 (4.5%)	+20.0	60.0 (3.6%)	
液晶 (利益率)	-9.5 (-4.9%)	18.1 (6.4%)	26.0 (9.4%)	34.6 (4.6%)	5.3 (2.2%)	40.0 (4.0%)	+10.0	30.0 (3.1%)	
電子デバイス (利益率)	0.1 (0.2%)	5.1 (5.9%)	4.2 (4.0%)	9.4 (3.7%)	2.5 (3.0%)	12.0 (3.5%)	0.0	12.0 (3.8%)	
デバイスビジネス (利益率)	-9.3 (-3.7%)	23.3 (6.3%)	30.2 (7.9%)	44.1 (4.4%)	7.8 (2.4%)	52.0 (3.9%)	+10.0	42.0 (3.3%)	
小計 (利益率)	10.0 (1.5%)	40.1 (5.1%)	56.4 (6.5%)	106.7 (4.6%)	25.2 (3.1%)	132.0 (4.2%)	+30.0	102.0 (3.4%)	
調整額	-7.0	-9.3	-8.8	-25.2	-6.7	-32.0	-10.0	-22.0	
合計 (利益率)	3.0 (0.5%)	30.8 (4.2%)	47.6 (5.8%)	81.4 (3.8%)	18.5 (2.5%)	100.0 (3.4%)	+20.0	80.0 (3.0%)	

**SHARP**

**SHARP**